

令和6年度 第2回徳島市立図書館協議会 会議録要旨

- 1 日 時 令和7年3月24日(月) 14:00～15:30
- 2 場 所 徳島市役所 本館13階 第一研修室
- 3 出席者 委員 委員長 三木 鈴江(家庭文庫代表)
副委員長 和田 初枝(四国大学日本文学科准教授)
委員 米原 貴美枝(助任幼稚園長)
遠藤 明子(入田中学校長)
松永 勉(市文化協会会長)
板東 恵子(市社会教育委員長／市婦人連絡協議会会長)
山本 武生(市議会文教厚生委員会委員長)
竹内 紘子(日本児童文学者協会徳島支部長)
福島 吉美(徳島市少年を守る母の会会長)
露口 悦之(県立図書館長)
- 事務局 市教委(社会教育課) 岡田課長、北村課長補佐、平山係長、堤主査、板東主事
図書館(指定管理者) 廣澤館長、菊本副館長、清水副館長、渡部副館長
金山部署責任者、多田エリアマネージャー

4 議 題

(1) 令和6年度の活動状況について

館長より説明。

《質疑応答①》

- 委員 学校との連携について聞きたい。学校では朝の読書活動をしていると聞くが、生徒へ十分にいきわたる本があるのだろうか。図書館から学校へ本を貸し出すということはできるのか。実のある読書活動にして欲しいので、そのためにも学校と図書館の連携がどのようになっているか教えて欲しい。
- 事務局 学校連携を児童サービスの中で重点項目として掲げており、団体貸出や配本サービスを行っている。各学校の朝の読書活動がどのように行われているかは把握できておらず、学校との連携という意味でも、その実態を把握して図書館としてできることを考えていきたい。校長先生からもご要望があればお聞きしたい。
- 委員 入田中学校では朝の読書タイムを設けており、家から持参した本や学校にある本を読んでいる。当校では市から予算をいただいており、新しい本を購入できる状況にはある。以前の協議会で、図書館より、電子図書館についての説明があった。今は生徒が一人一台タブレットを持っているので、生徒が登録をしてタブレットで電子図書を読みたいときに読めるという活動に挑戦したいと思っている。それによって、タブレットを利用した読書の広がりがあるかもし

れない。

《質疑応答②》

委員 今年度初めて行った事業の中で、「わんちゃんに本を読もう」がとても興味深かった。幼稚園児も年下の子に読み聞かせをしてあげたいという気持ちはあるが、読むのがおぼつかなくて物語の雰囲気を出すことはできない。文字をひとつひとつ追うような読み聞かせになり、聞き手が飽きてしまうことがある。相手が犬だと読む方も聞いてくれたという気持ちになり、すごく良い経験になるのではないかと。素晴らしいと思った。

事務局 「NPO 法人 補助犬とくしま」様にご協力いただき、6匹の読書犬とハンドラーの方に来ていただいた。参加者の方から、楽しかったという声をたくさんいただいたので、今後も続けていければと思っている。県立図書館や他館で行われている記事を拝見して、当館でも企画したイベントである。

《質疑応答③》

委員 YA ボランティアの活動で新春福袋や長期図書整理期間中のお手伝いをしていることを初めて知った。中高生にとって良い経験になる活動だと思った。

事務局 YA ボランティアの皆さんは一生懸命活動してくれている。新春福袋では自分の選んだ本が貸出になったり、利用者へのプレゼントを作ったりと、自分が関わった活動で利用者の方が喜んでくれるという体験を通して、中高生たちの豊かな経験につながるのではないかと思います。取り組んでいる。

《質疑応答④》

委員 新型コロナウイルスの影響で減ってしまった来館者が戻らないというところで悩んでいるのではないかと思います。YA ボランティアで中高生が参加しているのだから、SNS を利用してはどうか。今の時代、SNS は知ってもらいきっかけになる。せっかく良い事業をしているのだから、うまく発信していければいいのではないかと。今はそういうことはしていないのか。

事務局 X (旧ツイッター) を利用している。イベントの情報や活動報告を投稿し、発信に努めている。ただ、行き届いているかはつかめていないのが現状である。以前の協議会で SNS に長けている中高生から、YA ボランティア活動の様子や情報を発信してもらってはどうかというご意見をいただいた。参加している学生から自分の SNS で発信したいという声があったときは、#徳島市立図書館をつけて投稿してもらっている。今後は、タイムリーに情報を届けるための工夫が必要だと考えている。

(2) 令和7年度の事業計画(案)について

館長より説明。

《質疑応答①》

- 委員 新しい取り組みとして「館長体験」は良い事業だと思う。
- 事務局 毎年行っている子ども司書のイベントの一環で、新たに館長の仕事を体験してもらう予定である。初めての試みだが、楽しんでもらえる内容を考えている。

《質疑応答②》

- 委員 イベントで図書館を知ってくれた方が、目的に沿って来館してくれていると思う。電子図書館も充実しており、効率的に図書館を利用しているようだ。来館者数を伸ばしていく課題があるが、大人や学生に向けた滞在型の図書館という部分を伸ばしていけば、来館者の増加に繋がるのではないかな。
- 事務局 社会人席コーナーや学習自習席コーナーを設けており、最長で4時間の利用が可能となっている。利用も増えてきている。新しく図書館を利用する方に当館の特徴的なサービスを周知する工夫を考えていく。

《質疑応答③》

- 委員 パスファインダーについて説明があったが、電子でも見ることができるのか。電子版があると学生も有効活用することができるのではないかな。
- 事務局 図書館で配布している紙媒体の他に、図書館 HP でも閲覧・ダウンロードできるようになっている。ぜひ、活用していただきたい。

- (3) 図書館指定管理者の選定について
社会教育課より選定経緯の説明。
館長より指定管理者としての抱負。

《質疑応答》

なし

- (4) その他
なし